

## 「一期一会」から広がる幸せ

吉野よしの 瑳記さき

シヤカ シヤカ シヤカ。茶せんをふる音がリズムを刻み、私は自然と背筋がしゃんとする。どうぞ召し上がれと差し出され、まず、大好きな抹茶の香りにつつまれる。ゆつくりと口に含まれ、そう、この味！おばあちゃんが立ててくれたお茶は最高！格別なのだ。私のおばあちゃんは茶道の先生。家に遊びに行くと、季節を感じるお干菓子や和菓子が私を迎えてくれる。美味しいお茶を頂きながらおばあちゃんとの楽しい会話が始まる。

「一期一会」

おばあちゃんから教わった言葉。あなたとこうして出会っているこの機会、この時間はもう二度と巡っては来ないたった一度きりのもの。だから、今出来る最高のおもてなしを、という千利休の茶道の心得からくるこの言葉の思いをとて大事にするおばあちゃんは、どんな小さな出来事や出会いも自分にとってきてくれた貴重な巡りあわせに感謝して「ありがとう、ありがとう」とよく口にします。

おばあちゃんの代わりに物を取ってあげる、荷物を持ってあげる、咳き込む背中をさすってあげる。私は当たり前のこととしているだけなのに、当たり前でさえも「ありがとう、ありがとう」と繰り返すおばあちゃん。私ははくすぐったく、照れくさくなる。同時に私は嬉しさで心も体もぼかぼかになる。「ありがとう」の言葉からはまるで幸せのエネルギーが放出され

ているみたい。そしてこの幸せのエネルギーを浴びると人は笑顔になる。一瞬にして温かほっこりした空気がその場を包み込む。おばあちゃんが私に教えてくれた。

おばあちゃんの大変身、お茶会や教室などお茶の催しに出席する時のおばあちゃんが私は大好きだ。さっそうと着物を着こなし、茶道の心得だけでなく、感謝の念の大切さを話すおばあちゃんは凛として、そしてきらきらしている。「一期一会」の思いを常に心に抱き、幸せのエネルギーを放つおばあちゃんには笑顔のお返しがやってくる、そのお返しに対してまた「ありがとう」と感謝するおばあちゃん。おばあちゃんを取り巻く幸せ連鎖をパワーに変えて、だからおばあちゃんには生き生きと輝いて毎日を送っているんだね。

おばあちゃん、私は人として大切なものをおばあちゃんから学んでいます。おばあちゃんから幸せのエネルギーをいっぱい貰って成長しています。おばあちゃん、ありがとう。おばあちゃんのように「一期一会」に感謝する心を持ち、輝ける人でありたい。そしておばあちゃん、いつも愛情たっぷりのお茶を私に入れてくれてありがとう。いつかおばあちゃんに瑳記最上級のお茶を立ててあげたい。

「さきちゃんが立ててくれたお茶は最高！格別ね！」  
その時はおばあちゃん、言ってくれませんか。